

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム岡崎若松の家

目標達成計画

作成日：令和2年 8月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	利用者様を2グループに分けて、一日おきに入浴して頂いている。一日に4～5人が入浴するため、ひとり一人の希望に添った支援とは言えない。	ひとり一人がゆっくり湯船につかれる時間を確保する為、入浴を一日3人に変更する。また、色々な工夫をして楽しい時間にしていく。	①利用者様と『若松の湯』という暖簾を作り、お風呂場入口に掛ける。 ②入浴剤を入れる。 ③入浴する方が好きな音楽を流す。 ④入浴後に飲み物等を提供する。	1ヶ月
2	10	『家族アンケート』で出された以下の意見を取り入れ、問題点を改善していく。 ・職員の名前が分からない(名札を付けていない)。 ・職員間の連絡、引継ぎがしっかり行われていない。 ・本人の担当者がわからない。・日常生活全般について書面で定期的に報告して欲しい	家族と施設職員が一緒になって利用者様の生活を支えていく為にも ご家族様との連携を今以上に密にしていく。	①エプロンに名札を付ける。 ②申し送りの徹底 ③利用者様ひとり一人の居室担当を決める ④『若松通信』を毎月送付する	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。